



35:1 エリフはさらに続けて言った。
35:2 あなたはこのことを正義によると思うのか。「私の義は神からだ。」とでも言うのか。
35:3 あなたは言っている。「何があなたの役に立つのでしょうか。私が罪を犯さないと、どんな利益がありますでしょうか。」と。
35:4 私はあなたと、またあなたとともにいるあなたの友人たちに答えて言おう。
35:5 天を仰ぎ見よ。あなたより、はるかに高い雲を見よ。
35:6 あなたが罪を犯しても、神に対して何ができよう。あなたのそむきの罪が多くても、あなたは神に何をなしえようか。
35:7 あなたが正しくても、あなたは神に何を与えようか。神は、あなたの手から何を受けられるだろうか。
35:8 あなたの悪は、ただ、あなたのような人間に、あなたの正しさは、ただ、人の子に、かわりを持つだけだ。
35:9 人々は、多くのしいたげのために泣き叫び、力ある者の腕のために助けを呼び求める。
35:10 しかし、だれも問わない。「私の造り主である神はどこにおられるか。夜には、ほめ歌を与え、
35:11 地の獣よりも、むしろ、私たちに教え、空の鳥よりも、むしろ、私たちに知恵を授けてくださる方は。」と。
35:12 そこでは、彼らが泣き叫んでも答えはない。悪人がおごり高ぶっているからだ。
35:13 神は決してむなしい叫びを聞き入れず、全能者はこれに心を留めない。
35:14 しかも、あなたは神を見ることができなと言っている。訴えは神の前にある。あなたは神を待て。

35:15 しかし今、神は怒って罰しないだろうか。ひどい罪を知らないだろうか。
35:16 ヨブはいたずらに口を大きく開き、知識もなく、自分の言い分を述べたてる。

エリフの神観は友人たちと違い、「因果応報」ではなく「超越的な存在」です。ですから「罪を犯しても」「正しくても」、神は「心に留めない」と言っています。

しかし一方では、「神は…罰しないだろうか」と、因果応報的なことを言います。実は両方正しいのであって、神は遠い絶対者であるとともに、人の近くで愛してくださる方なのです。

エリフは一面では友人たちよりも優れていましたが、自分の神論こそが優れているとヨブを批判し、癒すことをしませんでした。

誰も神を完全に知ったものはありません。へりくだって、神のみこころを行いましょう。「ローマ 11:34 ...だれが主のみこころを知ったのですか。また、だれが主のご計画にあずかったのですか。…すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。」というみことばの通りに。

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

